

2月23日：ベトナム株は続落

ベトナム株は続落。しかし、大型株が引け間際に上昇し、下落幅を縮めた。

ホーチミン取引所のVN指数は0.06%安の1,053.66ポイントで取引を終えた。直近3営業日での下落幅は3%以上となった。

276銘柄が下落したのに対して143銘柄が上昇した。

流動性はわずかに低下し、出来高は7.21億株、売買代金は12.1兆ドンであった。

大型株であるビンググループ(VIC)、ホアファットグループ(HPG)、サイゴンビール(SAB)、ビナミルク(VNM)、BIDV(BID)、ベトコムバンク(VCB)といった銘柄が午後の相場を牽引した。これらの大型株の反発が投資家心理を改善し、中小型株にも広がっていった。

VICは多くの時間で下落していたが、ATCセッションで大きく上昇した。値上がりまでは行かなかったが、反発が指数を大きく戻すことになった。

銀行セクターは値上がり銘柄が多かった。12銘柄の上昇に対して4銘柄のみが下落した。BIDV、VCB、CTGといった銘柄がそれぞれ1.2、0.3%、0.4%上昇した。

外国人投資家は売り越しとなり、金額は7,000億ドンほどに達した。VHM、HPG、VNDといった銘柄が売られた。

ロンベト証券のアナリストによると、高い流動性は売りが増加し、市場に圧力が高まっていることを表している。

市場の悲観的な見方が存在しており、今後も下落が想定される。しかしながら、短期的には1,035-1,045ポイントが下値のめどになるだろう。そして、値動きが高まることが想定されると同社はコメントした。

ハノイ取引所のHNX指数も3日続落。同指数は0.31%安の209.31ポイントで取引を終えた。

出来高は8,200万株、売買代金は1.3兆ドンであった。

外国人投資家は 26 億ドルを買い越した。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。